



自転車によって、鹿児島島のいいところ巡ろう!

サイクルポートMAP

サイクルポート設置場所

- ①鹿児島中央駅東口
- ②キャンセビル前
- ③高見橋
- ④観光交流センター
- ⑤高見馬場
- ⑥甲東中学校前
- ⑦ザビエル公園
- ⑧清滝のこみち(天文館公園前)
- ⑨中央公園
- ⑩西郷銅像前

サイクルポート設置場所

- ⑪いづろ
- ⑫パース通り(大門口)
- ⑬ファミリーマート住吉町店
- ⑭ドルフィンポート
- ⑮鹿児島市役所
- ⑯県民交流センター
- ⑰桜島棧橋
- ⑱鹿児島駅前
- ⑲市立病院 ※4月17日(金)供用開始
- ⑳サンエールかごしま

※この地図は平成27年3月1日現在のものです



サイクルポートの端末機

旅立ちのとき
今から150年前の1865年、薩摩藩は4人の
外交使節と15人の留学生をイギリスに派遣しました。
当時の江戸幕府は許可なく国外に行くことを禁止し
ていました。13歳から33歳までの青少年たちは日
本の行く末を案じ、新たな時代を築こうと異国の地
に渡り、西欧の技術や知識の習得に励みました。帰
国後、彼らはさまざまな分野で活躍し、日本の近代
化に大きく貢献しました。

さて、3月は進学や就職で家族や友人たちと過ご
した鹿児島を離れて新しい世界へ飛び立つ方も多
いのではないでしょうか。私もこの時期、大学進学で
親元を離れました。当時、新しい環境になじめるだ
ろうか、友達ができるだろうかなどと、今思えば小
さなことですが、不安でいっぱいでした。鹿児島
の言葉に「立よっか、ひつとべ」とありますが、難し
いと思えることでも、いざやってみると、何とかな
るものです。その経験が自信となり、少しずつ自分
の世界を広げてくれるのだと思います。

これから旅立つ若い人々には、ぜひ、臆せずい
ろいろなことに挑戦して、新たな自分の可能性を見
いだしてほしいと思います。実際に見たこと、学
び経験したことを力にして、いつか薩摩藩英国留
学生のように、次代を切り拓いていく人材に成長し
てほしいと願っています。

桜島フェリー80周年
桜島フェリーが80周年を迎えました。昭和9年に、
当時の西桜島村が、生活・通学航路として運航した
のが始まりです。昭和16年には貨物自動車3台を搭
載できる「桜島丸」を建造し、大量輸送が可能とな
りました。現在では、6隻のフェリーで、年間約52
0万人の旅客、約153万台の車両を運び、世界で
も有数の輸送量を誇っています。

また、平成23年から開始し、毎日運航している「よ
りみちクルーズ」も好評です。日本ジオパークに認
定された桜島と錦江湾の雄大な景観を眺めながら、
ちよっとした船旅を味わえます。

また、来月から新しく第二桜島丸(愛称「サクラフエ
アリー」)が就航します。新船は会議や結婚式なども行
えるほか、高齢者や小さな子ども連れの方々にも快
適にご利用いただけるよう専用のオープンスペース
を設けるなど、これまで以上に充実した設備で皆さ
まをお迎えします。

これからも桜島と市街地、薩摩と大隅を結ぶ架け
橋となり、県内外の多くの皆さまに愛される公共交
通機関として「安全・快適24時間運航」に努めてまい
ります。

市民とともに

鹿児島市長
森博幸